

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」掛川第2校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日		令和6年12月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和6年11月20日		令和6年12月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様達が安心して楽しく通うことができている。	・お子様の目線に合わせて、自信をつけたり、楽しめたりできるようプログラムを構成している。 ・就学に向けた小集団活動を行っている。	・毎日の支援だけでなく、実験や工作の小集団活動や保護者様も一緒に楽しめ、安定して楽しく通うことができるような課題を今後も引き続き提供していく。
2	・個別支援なので、お子様のその時々様子に応じて臨機応変に対応できる。	・お子様のその日の様子をみながら、支援内容や課題の量を調整している。 ・お子様の意見を尊重することで自主性を育てている。	・園との連携に努め、園での様子を見学・情報共有を行い、支援の課題を提供していく。
3	・お子様・保護者様のご要望にタイムリーに応えることができる。 ・保護者様が相談しやすい環境・雰囲気がある。	・日々、従業員同士のコミュニケーションがとれており、職員間で情報共有ができている。 ・共有した情報を基に、継続的な支援を行うよう努めている。	・フィードバックの内容や説明の専門性を高めるため、研修に参加する。 ・近隣校舎の専門性の高い職員に、週1回助言をもらう機会を設定する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご希望に沿って保護者様からのご相談に応じてはいるが、相談できることをご存じない方もいらっしゃる。	・相談できることの周知を行う頻度が少ない。	・相談の時間を設けることができることを契約時だけでなく、進級や進学前などの環境が大きく変化するタイミングで相談の必要の有無を聞く。 ・事業所内相談を行っていることを掲示し、広く周知していく。
2	・活動概要や行事予定、連絡体制等の情報発信が、対面以外でされていない。	・SNSの運営をほぼしておらず、LINEでの警報発令時の対応等の業務的なものになってしまっている。	・SNSの内容をもっと気軽に発信できるように、インスタのストーリー等を利用する。 ・今週のイベント内容をLINEやブログ等で発信していく。 ・担当を決めて発信していく。
3	・保護者様同士での情報共有ができず、ピアサポートが不足している。	・保護者様同士が気軽に集まれる場が少なく、また話す時間も用意されていない。	・保護者様同士の交流の機会を設ける。(小集団の保護者様参加、保護者会等)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」掛川第2校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2025年 11月 20日

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	1	0	1つの部屋しかないので、スタッフと子どものことを話す時に、話し声が子ども本人に筒抜けで気になります。	ご意見ありがとうございます。話の内容によっては、お話しをするお時間を設定させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	0		法令で必要とされている配置数に加え、指導員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	4	2	0	音漏れが気になる。	ご指摘ありがとうございます。お子様の特性等を考慮し、場所や支援時間等を配慮して、対応していきます。また、聴覚過敏のお子様については、別室にて支援を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	1	0		毎朝支援前に全職員で清掃除菌を行っています。活動に合わせた空間作りとして、小集団・個別に応じてパーテーションで区切っています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	1	0	この一年、スタッフの交代が多く、安心して相談してできる雰囲気ではなかったの で、落ち着いた状況になって欲しい。	ご意見ありがとうございます。今年度は、交代なく安定していますが、昨年度は皆様にご迷惑をお掛けしました。安定して継続可能な環境を構築し、より良い支援に繋げていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	2	1	0		定期的にあセスメントやモニタリングを行った上で作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2	1	0		個別支援計画とともに専門的支援実施計画を合わせて、具体的な支援内容を記載しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2	1	0		プログラム作成時には個別支援計画を確認し、計画に沿った支援を行うようしております。支援内容の変更の場合は、職員間で共有し、速やかに実施していけるよう心掛けていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	4	1	1	学習がワンパターン。	ご意見ありがとうございます。ワンパターンにならないように、お子様の発達段階に合わせて教材を使い分けし、工夫をするともに、研修を行うことで指導員の技術向上を図ります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	1	2		個別支援という特性上、望まれない保護者様が多い為、行ってはおりません。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2	0	0		契約時や内容変更があった際には、管理者、児童発達支援管理責任者より説明を行っています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	1	0		個別支援計画を提示し、説明を行った上でサインをいただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	2	2		ゲーム依存に関する研修情報の提供を行っています。また、来年度、5月頃に保護者会を実施する予定です。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0		支援の様子を見ていただいたり、情報交換・共通理解ができるよう支援後にフィードバックをしたりしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	6	2	1		契約時と6カ月毎のモニタリング等でお話を伺っています。家族支援としてお時間を確保できるので、お気軽にお声掛けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1		今後も、保護者様やお子様の気持ちに寄り添い、支援をして参ります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	4	3		保護者様にご希望をお伺いし、開催を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3	1	0		希望があった際には、電話による相談や来所時に面談を行う等の対応をしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2	0	0		児への視覚補助や動作、声掛けの共通化等の工夫をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	8	1	3		ホームページ・SNS等は、今後力を入れていく予定です。自己評価の結果については、ホームページにて公開しています。また、事業所内にも掲示しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2	0	0		個人情報が含まれる書類・PC等は、鍵付きの鉄庫にて管理及び持ち出しの制限を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	4	0	1		事業所内に掲示しています。また、月1回毎に防災訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3	1	1		事業所内に掲示しています。また、月1回毎に防災訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	1	0		事業所内に掲示しています。また、月1回毎に防災訓練を実施しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	3	1	3		事故が発生した際には、お電話やフィードバックにてお伝えしています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		今後も精進して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0		今後も精進して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	4	1	0		お子様や保護者様に満足してもらえるよう、努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」掛川第2校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動内容によって、パーテーションの区切りを変えている。	音漏れについて、個別に対応していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	法令上必要人員以上は配置しているが、病欠等で不足する場合は、近隣校舎から適宜補充している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	段差等の危険箇所には、ラミネートによるお知らせや緩衝材の配置等の配慮をしている。聴覚過敏のお子様については、別室にて支援を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎朝、全職員にて掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	必要に応じて、部屋を区切る等の対応を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	目標を定め振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ガイドラインに定める評価表を配布し、ご指摘いただいた内容について、保護者様のご意向を踏まえ改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎朝の朝礼や必要に応じて話し合いの場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	県による運営指導を受け、問題なく運営できていることを確認した。	法人内で検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間を通して、様々な研修を受けている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	職員間で情報共有をした上で個々のお子様に向けた支援プログラムを作成し、保護者様にご説明、ご了承いただいている。	3月にホームページにて公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	お子様と保護者様それぞれのニーズを、職員間で意見を出し合い分析をし、計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間で話し合いをしたうえでモニタリング・計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画を全職員に回覧している他、支援記録ファイルに保存し、常に確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	WPPSIⅢ知能検査を年長児は行い、支援や就学についての助言に参考にしてている。	来年度より、新版K式発達検査も事業所内できるように準備している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインの内容を踏まえた上で、職員間で話し合い、具体的な内容を設定している。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	月替りのイベントや工作等を担当で持ち回りしたうえで、全体で話し合ったリハーサルしたりしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	複数の指導員が支援に入ることで、柔軟性を持たせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	必要に応じて、小集団のイベントを企画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝、朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	支援終了後ではないが、毎朝の朝礼にて共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎支援の記録を行い、職員間で情報共有をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月毎に指導員間、保護者様とモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	会議前に職員間で共有を図った後に、児童発達支援管理責任者と担当者が参加している。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	関係機関との連携を行っている。また、近隣の病院に協力医として連携をお願いしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	必要に応じて、園と情報共有の会議を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	園と連携を取り、教育委員会に提出する書類に必要な知能検査の結果を提供している。	特別支援学校(小学部)への移行の対象者がこれまでいなかったが、その機会があれば情報共有を行っていく。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	研修等に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		個別支援という特性上、望まれない保護者様が多い為、行っておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎支援後のフィードバックにて情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	支援の見学を勧めている他、ゲーム依存に関する研修等のご案内をしている。	保護者会の実施は実施に向け検討中。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に児童発達支援管理責任者から説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	フィードバック時に保護者様のご意向を聞いたり、モニタリング時に確認を行ったりしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者様と一緒に確認をしながら説明している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	フィードバック時に保護者様のご意向を聞いたり、モニタリング時に確認を行ったりしている。必要に応じて面談や電話での相談を行っている。また、就学前の保護者様に対する保護者会を開催した。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	就学前の保護者様に対する保護者会を開催した。きょうだい向けのイベントは実施していないが、検討したい。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情マニュアルに基づき、対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2		更新が少ないため、今後力をいれていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が含まれた書類等は、鍵付きの鉄庫にて管理、それらの持ち出しを制限している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	必要に応じて、視覚補助のツールや筆談、電話での対応をしている。また、外国籍のご家族様には、外国語の書類を用意している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		交流の機会を設けていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	毎月1回、テーマに沿った防災訓練を行っている。また、訓練内容を1階カウンターに掲示している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	各担当がBCPの策定を行った。また、定期的に内部研修を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	安全に運営できるよう、年度ごとに基本情報を更新したり、服薬の変更等必要に応じて保護者様の確認をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食品等の提供はしていないが、年度初めに確認をしている。	イベントでお菓子等を配布する際や小麦粉粘土等を行う際には、その都度参加者に確認を行っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	防災担当が策定を行うとともに、半年毎に見直しを行っている。また、地域の消防署と連携し、建物の点検を行った。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	防災訓練については、毎月1回実施し、内容掲示を行っている。安全計画は出入口に置き、見ていただけるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットや危険箇所については随時職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部研修の参加、内部研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	内部研修を行い、身体拘束について話し合いをする機会を設けた。		